

雷の子

カトリック町田教会
町田市小町 3-2-1
電話 042-722-4504
FAX 042-722-4512

いかにちの子

<http://www.machida-catholic.jp/>



聖霊が鳩のような目に見える姿で
イエスの上に降り、天から声がした。
「あなたはわたしの愛する子、わたし
の心にかなう者」

ルカ2.22-40

「命」への尊敬

「降る雪や、昭和は遠くなく
りにけり」

まもなく「平成」が終わろう
としていきます。新しい元号
になることで、私は（そして
恐らく、拙文をご覧のほとん
どの方は、「二世代前の人間」
と言われるようになるのでし
ょうか。子供の頃、明治生
まれの祖父を見ながら、「明
治」って一体：何なんだ？」
と書いていました。今度は
自分がその立場になる訳で、

主任司祭 林 正人

「隔世」という言葉が身に染
みる日も近いかも知れません。
ところで、昨年末、天皇陛
下が、天皇として最後の誕生
日を迎えるに当たって、記者
会見を行われました。その中
で陛下が声を上擦らせなが
ら、「平成が、『戦争のない時
代』として終わろうとしてい
ることに、心から安堵してい
ます」と言われたのを記憶
の方も多いいと思います。私は
ニュースでその会見を見まし

たが、その時、コメント
ターが、「でも、自然災害は
沢山あった訳で」と、いさ
さか反論とも取れることを
言っていました。しかしこれ
は、私も含めた「戦争を知ら
ない世代の発言」としてい
ます。自然を通して起こる（中
には人災に近いものもありま
す）災害と違い、どこまで
も「人間の仕業」である戦争
を、実際に体験した方々は、
未体験の者には到底解らない
「戦争のないことの幸せ」を
肌で感じるのでしょうか。よ
もや天皇陛下も同じではない
かと推察します。

空の上から爆弾が落ち、機
銃掃射の雨が降る。戦争を知
らない者には想像すらできな
い風景を目の当たりにしてき
た方々にとって、先の大戦を
「止むを得なかった」「正義
の戦争だったのだ」等と宣う、
一部政治家や自称有識者の言
葉は、どのように映るもので
しょうか。イエス様は、「義
のために迫害される人々は、
幸いである」と言われました。
ならば、「歪んだ義のために
人命を犠牲にする人々は、不
幸である」

五月から始まる新しい時代
も、日本は「戦争のない時代」
を貫徹できるのか。戦争
を知る世代が更に減り、前掲
のセンセイたちが跋扈し、世
界的に見ても自国第一主義が
蔓延するようであれば、「戦
争」こそなくとも、様々な紛
争に日本は巻き込まれるので
は、と考える私は、悲観的過
ぎるでしょうか。

戦争・紛争を防ぐには、
「対話」しかありません。目
の前にいる人をしっかりと見
めることです。目の前にいる
人を「いない者」にしてしま
えば、そこに「命」はありま
せん。機関銃でも爆弾でも
使いたい放題です。しかし、
しっかりと見つめるなら、そこ
には、自分と同じ「命」があ
ります。私たちは、隔ての壁

運営委員会の活動について

運営委員会 久保田 伸

今年度は「開かれた教会に
しましょう」をテーマに活動
を行いました。

「開かれた教会」は、教会
外の社会に開かれている、信
者同士の関係が開かれている、
信徒と司祭の関係が開かれて
いるなど、いろいろな意味が
あると思いますが、現代社会
の中で教会が生きて存在
するためには、開かれた教会
であることは必須だと思います。

今年度は、開かれた教会活
動として「教会内ツアー」
「皆さんの意見を聞く会」
「キリスト教を覗いてみよ
う」が実現できました。

を除き、その向こうにある命
を直視しなければなりません。
福音書には、人と人との間
に立ちのぼる様々な「壁」
を打ち破るイエス様が描かれ
ています。その心中にあるの
は、壁の向こうにある、神様
の造られた命への尊敬です。
命を見つめるイエス様、その
眼差しに、私たちは生かされ
ています。そして、同じ眼差
しを他者に向けてるように、私
たちは召されているのです。

私たちが「イエスの眼差
し」で他者を見つめ、目の前
にある「命」への尊敬を持つ
ことができますように。

2019年 町田教会の主な年間行事予定

- 1月1日(火) 新年のミサ
6日(日) 新成人祝福式・新年会
2月17日(日) 町田教会信者総会
3月9日(土) 外国語による四旬節黙想会
(ネルソン神父・神言修道会)
17日(日) 四旬節黙想会(大瀬高司神父・カルメル会)
23日(土)・24日(日)
ゆるしの秘跡(聴聞司祭未定)
4月18日(木) 聖木曜日(主の晩餐)
19日(金) 聖金曜日(主の受難)
20日(土) 聖土曜日(復活徹夜祭)
21日(日) 復活の主日・復活祭パーティー
6月23日(日) 初聖体
7月下旬 夏期学校
8月15日(木) 聖母被昇天のミサ
10月13日(日) ヤコブ祭
10月27日(日) 長寿感謝のミサ・茶話会
11月3日(日) 町田教会合同追悼ミサ
10日(日) 七五三祝福式・カトリック府中墓地墓参
12月7日(土) 外国語による待降節黙想会
(ディンド神父・神言修道会)
(日程未定) 待降節黙想会(雨宮慧神父・東京教区)
(日程未定) ゆるしの秘跡(聴聞司祭未定)
24日(火) 主の降誕(夜半のミサ)
25日(水) 主の降誕(日中のミサ)

営のためには皆さんの叡智と協力が不可欠です。推薦を受けたら尻込みせずに運営委員を引き受けてくださいね。

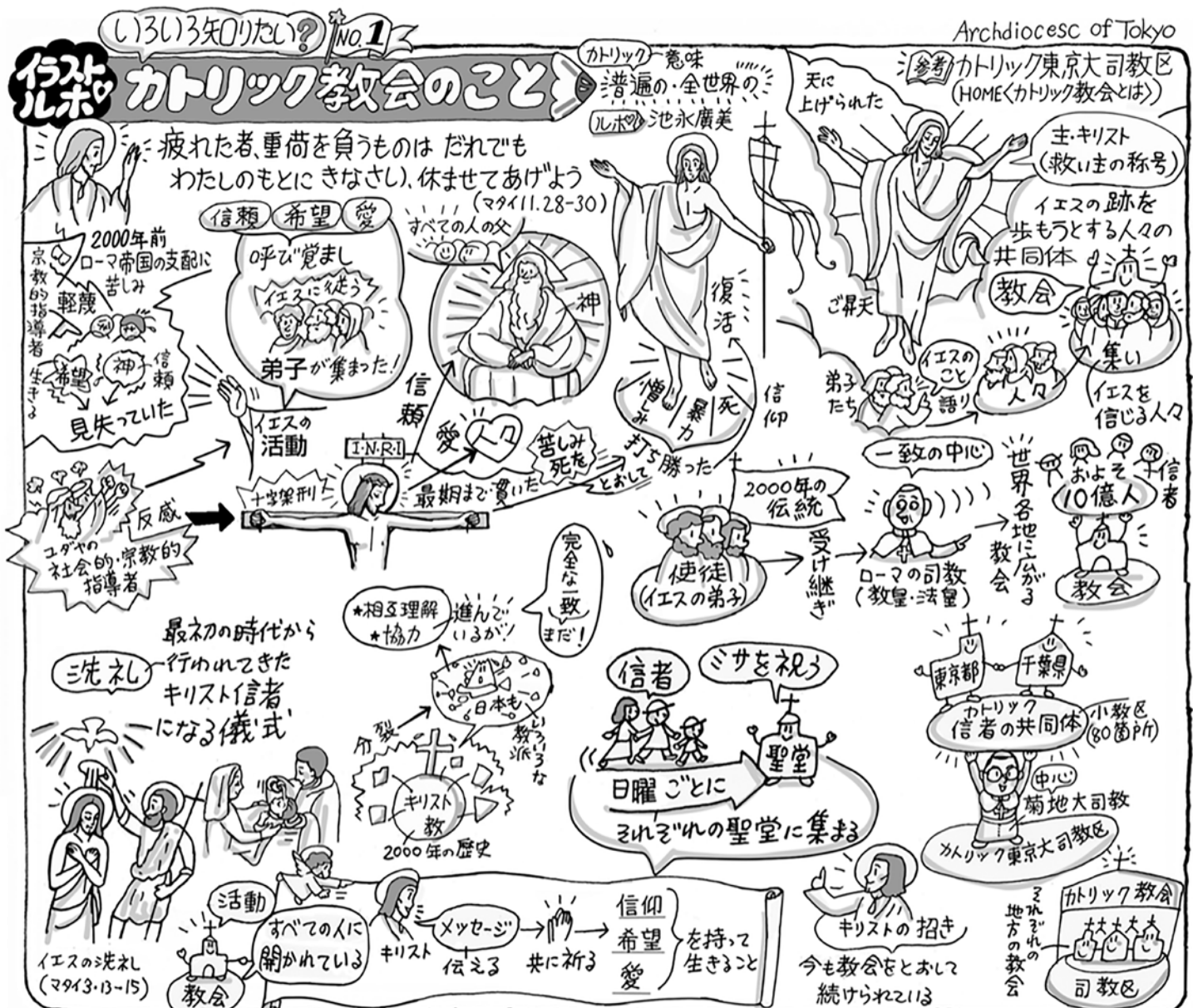
町田教会には歩みの中で作り上げてきた運営規約があります。規約のはじめに「社会に開かれた教会として共に成長し、分かりやすい意思決定の枠組みを示し、誰でも参加しやすい活動の場を設けて、私たちの共同体を運営する」とあります。この言葉には町田教会のメンバーが経験してきたいろいろな思いが詰まっています。この精神を生かしつつ町田教会の運営がなされることを願っています。

森司教の書かれた本に次の

ような言葉がありました。

「カトリックは、使徒継承の教皇・司教・司祭・信徒のかかわりを、権威主義的構造の枠の中で理解し、それを裏づける神学を展開してきたが、第2バチカン公会議は、神の民としての共同体性を強調し、教会のメンバー間の対話をもうながしているのである。しかし、残念なことに、現実はその対話も共同体性も、まだまだ従来の枠にはめられたままの理解である」(森一弘『これからの教会のありようを考える』より)

まだまだ変革途中の私たちです。少しずつ前進したいものです。



I・N・R・I(「ナザレのイエス、ユダヤの王」の略) ヘブライ語・ラテン語・ギリシア語で書かれた。(ヨハネ19:19-20)

バングラデシユでの瞑想指導

イエズス会司祭 柳田 敏洋

私は昨年の4月バングラデシユに行き、知的障がい者の手助けをしているバングラデシユ人のグループ20人にヴィパッサナー瞑想を手ほどきしてきました。そこで働く日本人のカトリック女性看護師の依頼でした。この人たちは知的障がい者と健常者が生活を共にすることで互いが人間的に成長することを目指す「ラルシユ（箱舟）・コミュニティ」のアシスタントです。

このコミュニティのユニークさは、世界に150あるラルシユで唯一、キリスト教とイスラム教とヒンズー教の人たちが協働している点です。イスラム教が大多数のこの国は多くの人が1日2ドル未満で暮らす貧しい国で、その中で障がい者は様々な差別を受け、家族の中でも多くが厄介者扱いされています。

その人たちのために働いているアシスタントたちですが、彼らの悩みは「怒り」でした。知的ハンディを持つ人たちだと分かっている、生活を共にしているといライラが募り、怒りが生じてしまうのです。そのような悩みに対して、第三の道としてヴィパッサナー瞑想を紹介しました。怒りを

爆発させるのでもなく、怒りを我慢するのでもなく、怒りに気づき静かに見つめる方法です。これは元々、上座部仏教に由来する瞑想法ですが、その中心は「今ここにあるがままに価値判断を入れずに気づく」というもので、イエスの教えた無償無条件の愛「アガペ」と重なります。

キリスト教の神は持ち出さなかつたのですが、どの宗教のアシスタントも神を信じ、人間に対する神の無条件の愛を分かってくれました。そして、この神の愛に響く心で呼吸に気づく瞑想から始めました。そうして自分の感情にあるがままに気づく瞑想に取り組んでもらい、怒りが生じても怒りと自分を一つにせず、心の距離を取って怒りを静かに見つめ、怒りを過ぎ去らせる方法を知ってもらいました。アシスタントたちはとても喜んでくれました。

私たちは真剣に関わることであるほど、感情に巻き込まれやすくなりますが、このようにアガペの心で気づく瞑想は信仰を生活の中で生かす助けとなります。バングラデシユでの体験で、この瞑想が人種、文化、宗教を越えて通じることが分かり、自分の内面に気づくことの大切さを改めて感じることができました。

音信を届けるために

CIC章談サービス 佐藤千代子

毎月第3・4週の月曜日、朝から夕方まで会議室などで仕事をしているのは、私達CIC町田のメンバーです。

CICというのは、コル・ウヌム（一つの心）インフォメーションセンターの略で、現在は主に麹町教会・町田教会所属の者がボランティアとしてかわわっています。「カトリック新聞」「毎日のミサ」などを視覚障害の方のために音訳するのです。資料はまず下調べから始まり、各々がデジタル機器に録音。チェック

をしてからパソコンでCDを作り（一部はテープに録音）、ダビングし、全国の会員へ発送しています。その他、ロゴス点字図書館の出版物や教区ニュースの音訳をお引き受けすることもあります。

30年前、当時の福祉部の一部として、私たちのグループは発足しました。その頃は専用のデッキでテープに録音し、翌日に出来上がったテープを持って、麹町教会や本郷教会へダビングしに行っていました。町田教会のためには「雷の子」に連載されていた前島先生の「ワンポイント聖書」の数回分をテープに録音作成

特別
寄稿

教会ってなんだろう？

北町教会主任司祭 田中 昇

教会とはいくしみと愛に満ちた神様を信じる人々の家族的な集い（神の民）だと言えます。別の言い方をするとしたら、教会とは、人がキリストと出会う場所です。神様が御子と聖霊の働きを通して私たちの人生を深い信仰の喜びのうちに導いていく原点です。そこはみことば（よい知らせ）を聞き、共に祈り共に回心に導かれ、光の子としての善い歩みを秘跡を通して神様の愛に直に力づけられ励まされる場所です。その最たるものが賛美と感謝の典礼です。

教会はそこに集う人が相互の愛と赦しを体験できる所、皆が安心できる所、誰もが尊重される所―神様の家族としての親密さや優しさ、愛情を感じられる所、教え合い論し合

い助け合って連帯する場です。それが真の教会活動の目標です。それゆえ教会の輝きを曇らすあらゆる内的・外的な態度は退けねばなりません。神様の前に皆等しく小さい兄弟姉妹同士、いたわりと尊敬、愛情と相互理解を以って希望の内に励ましと援助に取り組もうではありませんか。真理と正義を愛し、霊的・物的恩恵を互いに分かち合い喜んで生きること、互いに協調し謙遜に主の平和を生きたことを追及しようではありませんか。それこそまさに教会を聖霊の実りの場（ガラ5―22）とすることにほかなりません。そのように世にある教会共同体が福音の生きた証となるよう祈りたいと思います。だつて真の教会は神の国そのものなのですから。

成人式 一月六日
おめでとう

し、貸し出しもしました。最近「雷の子」の音訳版を普通のデッキでも聞けるCDに作って図書係にお預けし、どなたでも借りていただけるようになったと思います。小池神父さま執筆の巻頭言をまとめて2枚のCDも作りました。

グループ発足のきっかけを作ってくださった萩島先生、「カトリック新聞」リスナー

教会図書紹介



図書係

『この器では受け切れなくて』
『続この器では受け切れなくて』
山谷兄弟の家伝道所物語

菊地謙 著

生まれ落ちた家庭の貧困によって十分な教育を受けられなかった人々は日雇いで肉体的労働に駆り出される。病氣や障害によっても貧困へと追い立てられる。肉体労働による疲れを癒すのは酒だ。菊地師は酒やギャンブル依存の人に共感を持つ。天啓を受けてまじや食堂で廉価の弁当を提供して30年、聖書のイザヤ53章やヨブ記に励ましを受ける。フランクルの「夜と霧」の中の「いかなる時も生命に

然り」の言葉にも悟りを開き、福音の実践の源となっている。各方面から金品の寄附が送られボランティアが調理する。一方で反感や暴力に脅える。弁当をおじさん達に手渡す時に信仰へ導くが、生活の支えが先決だ。山谷で亡くなった人のお骨をお墓に納め仲間と供養する。息長い献身に頭が下がる。

(井上淑子)

『聖福音によるイエスの生涯の絵地図』 山口良樹 製作

天使ガブリエルによるお告げから御昇天まで聖書に書かれている106の出来事が地名と共に地図に描きこまれている。エルサレムではロバによる行進、最後の晩餐、ピラトの裁判、御復活その他の事柄が画いてあって面白い。60年前に名古屋の聖母カキスタ学院にあった掛軸から模写された復刻版で、山口氏が企画・製作され、池永廣美氏が復元・彩色を担当された。

『ザビエルの夢を紡ぐ―近代宣教師たちの日本語文学』

郭南燕（かくなんえん） 著

著者は日本文学を研究している中国女性。宣教師達が日本文化に与えた影響を沢山の史料から表明した。フランシスコ・ザビエルは日本語の習得に多大の努力を払ったことが彼の書簡にうかがえるのだが、短い滞在のため充分で

はなかった。ここに紹介された4人の宣教師達はザビエルが日本に抱いた夢を実現した人々である。

ヴィリオン神父は明治初年来日、64年間各地で宣教、「日本聖人鮮血遺書」で有名。カンドウ神父は戦前戦後を通して21年間宣教、神学校校長や朝日新聞のコラムも担当、日本人をしのぐ日本語と評判だった。ホイヴェルス神父は上智大学、麹町教会で54年間宣教、「細川ガラシア夫人」の脚本を書きオペラや歌舞伎で上演された。スナック「エポペ」で有名なネラン神父は遠藤周作との交流がありモデルにもなっている。（横塚千枝子）

教会クリスマスお泊り会

(12月8日・9日)



ケーキ作り、プレゼント交換、ツリーの飾りつけ、ミサと盛りだくさんのお楽しみ。



外国人クリスマスパーティー (12月16日)



ヨゼフ会新年会 (1月27日)

信者動静

2018年6月～12月

(個人情報のため、削除しています)

犠牲献金報告は次号に掲載します。